

⑤ 古典の基本問題

ある河のほとりに、蟻あそぶことありけり。にはかに水かさ増さりきて、かの蟻をさそひ流る。浮きぬ沈みぬするところに、

鳩こずゑよりこれを見て、「あはれなるありさまかな。」と、こずゑをちと食ひ切つて、河の中に落としければ、蟻これに乗って渚に上がりぬ。

かかりける所に、ある人、竿の先に鳥もちを付けて、かの鳩をささむとす。蟻、心に思ふやう、「ただ今の恩を送らむものを。」と思ひ、

かの人の足に、しっかと食ひつきければ、おびえあがつて、竿をかしこに投げ捨てけり。そのものの色や知る。

しかるに、鳩これを悟りて、いづくともなく飛び去りぬ。

そのごとく、人の恩をうけたらむ者は、いかさまにも、その報ひをせばやと思ふ志を持つべし。

『伊曾保物語』

(一) 基本問題①

- ① () に適当な語句を入れなさい。
『伊曾保物語』は(江戸) (時代)の初期に成立した(仮名草子) (であり、(イソップ物語) (の日本語版。

- ② にはかにの意味を答えなさい。
(急に) ()

- ③ 「さそひ」の意味を答えなさい。
(ちぢみ) ()

- ④ 浮きぬ沈みぬの主語を書きなさい。
(蟻) ()

- ⑤ これとはどのような様子を指しているのか。次から選びなさい。
(ウ) ()

- (ア) 蟻が河の水辺でのんびりしている様子
- (イ) 蟻が葉に乗り河を下っていく様子
- (ウ) 蟻が河に流されて浮いたり沈んだりしている様子
- (エ) 蟻が河の水が増えたので水辺から遠ざかっている様子

⑥ あはれなるの意味を答えなさい。
(**気の毒な**)

⑦ 落としければの意味として適切なものを次から選びなさい。(**ア**)
(ア) 落としどころ
(イ) 落としただけでも
(ウ) 落とさなかったので
(エ) 落としとしたしたら

⑧ かけりける所の意味として最も適切なものを選びなさい。(**エ**)
(ア) 頼りにできるところ
(イ) 寄りかかるところ
(ウ) ところが
(エ) こうしたところ

⑨ ささむとすの意味を答えなさい。
(**捕えようとする**)

⑩ ただ今の恩をとほどのような恩か。簡単に書きなさい。
(**蟻が河で溺れていたときに、鳩が枝の先を投げ入れて助けてくれた恩**)

⑪ 送らむの意味と、誰が「送らむ」なのか答えなさい。
意味 (**返したい**)
誰が (**蟻**)

(2) 基本問題②

- ① そのものの色や知る。とあるが、どんな意味か。適切なものを一つ選びなさい。(**ウ**)
(ア) 鳩を助けようとした蟻だったが、鳩がそれを望んでいないことを知っていただろうか。
(イ) 蟻を助けようとした鳩だったが、鳩の力ではそれが不可能であることをわかっているであろうか。
(ウ) 鳩を捕まえようとしていた人が、蟻にかまれてしまった本当の事情をわかっただろうか。
(エ) 蟻を助けた鳩が、そのお返しに助けられたことがわかっただろうか。
(オ) 蟻を助けた鳩が、見返りなど望んでいないことを蟻はわかっているのだろうか。

② 飛び去りぬを現代語に直しなさい。
(飛び去った)

③ いかさまにもを現代語に直しなさい。
(どのような形でも)

④ この文で伝えようとしている教訓を文中から抜き出しなさい。
(人の恩をうけたらむ者は、いかさまにも、その報ひをせばやと思ふ志を持つべし)



伊曾保物語

がっこうのおとこ

中学生 問題集